

鉄を超えて 新たな価値を未来へ



鉄を超えて、 もっと自由に、もっと豊かに。

はじめは鉄、そこからさまざまな素材に向き合い、誠実にものづくりを続けてきた東洋鋼鋳。
長い歴史の中で磨いた確かな技術と知恵を生かしながら、
素材が秘める無限の可能性を引き出し、日々の暮らしに寄り添う製品を展開しています。

そして今日も、創立100周年という大きな節目に向け、
世界でオンリーワンの素材メーカーを目指し、
社会の期待に応える新たな価値を生み出すため、挑戦を続けます。

東洋鋼鋳 企業理念

存在意義

東洋鋼鋳は、技術の可能性を追求することで
新たな価値を生み出し、
お客様とともに社会の発展に貢献します。

ビジョン

材料、圧延、表面処理に代表される基盤技術を融合・発展させ、
世界でオンリーワンの素材メーカーを目指します。

大切にする価値観

- 1 高い倫理観を持って行動します。
- 2 互いの人間性、多様性を尊重します。
- 3 自らの成長を、全体の成長へつなげます。
- 4 情熱と勇気を持って、新しいことに挑戦します。
- 5 誠実に本質を追究し、社会に新たな価値を創ります。



東洋鋼鋳のあゆみ

東洋鋼鋳は1934年に日本で初の民間ぶりきメーカーとして誕生し、これまでの歴史の中で培った鉄をベースとした圧延や表面処理などの当社固有の技術をもとに、アルミや樹脂などの鉄以外の製品分野へ進出を果たしてきました。また積極的な海外展開もおこなうなど、更なる事業領域の拡大を続けています。



熱圧作業



冷間圧延機

事業成長フェーズ1

1934年～ 国産ぶりきの 先駆者としての 出発と成長

1934年、ぶりきの国産自給化を目指し東洋鋼鋳株式会社が設立されました。翌年から山口県下松工場でぶりきの生産を開始。以降、工場設備の拡大を進め、製造基盤を確立しました。



電気錫めっきライン

事業成長フェーズ2

1958年～ 固有の技術を 生かした製品開発

1958年以降は、鉄に色を付けるというアイデアから、ビニール被膜を積層した樹脂化粧鋼板「ビニトップ」、ぶりきに代わる缶用材料として錫を使わないティンフリースチール「ハイトップ」、鉄に対して優れた防錆効果を持った亜鉛をもとに耐食性を向上させた電気亜鉛めっき鋼板「シルバートップ」と、当社固有の技術を生かした新製品が次々と開発されました。



ハイトップライン

事業成長フェーズ3

1985年～ さらなる技術革新と 鉄以外の素材への 展開

1985年には、環境に配慮したラミネート鋼板「ハイベット」や、当社の研磨およびめっき技術を他素材に応用した磁気ディスク用アルミ基板「MD」といった高付加価値な製品が誕生、また1986年には、電池分野の需要拡大を見越し、圧延、熱処理、表面処理技術を活用したニッケルめっき鋼板「ニッケルトップ」が誕生しました。これらの製品開発の成功により、素材メーカーとして独自のポジションを築きました。



磁気ディスク用アルミ基板研磨機

事業成長フェーズ4

1997年～ 海外展開と 新分野への挑戦

1997年に初めての海外子会社をマレーシアに設立し、MDの製造販売を開始しました。以降、中国に鋼板関連商品等の販売子会社、トルコに表面処理鋼板の製造販売を営む合弁会社を展開しています。製品開発も積極的に取り組み、ラミネート鋼板のフィルムを内製化した容器用機能フィルム「ファインキャストフィルム」が誕生しました。その用途は缶用・建材用からフラットパネルディスプレイ用にも可能性を広げ、光学用機能フィルムの営業生産も開始しました。また、医療分野へも挑戦し、高度な表面処理技術から遺伝子測定に使用される「DNAチップ」が生まれました。これまで培った技術は多分野へ拡大し、多様なニーズに応えています。



TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN.BHD. (マレーシア)

創立100周年に向かって

2024年～ (創立90周年)

これからも
フィールドを広げ、
新たな価値を
未来へ届けます。

TK WORKS
Beyond Steel

東洋鋼鋳グループ ブランドを策定

東洋鋼鋳グループは、2013年にグループブランド「TK WORKS」とスローガン「Beyond Steel」を策定しました。これらは、1934年の創業以来長きにわたって培った“鉄”をベースとした固有技術や知見を原動力に、従来の枠を超えた新たな世界へ、未来へと大きく飛躍していくという私たちが目指す「ありたい姿」への決意を表現したものです。

人々の暮らしを見つめ 皆様に寄り添う製品を提供しています。

いつも目にしているあの場所に、毎日愛用しているあのアイテムに、東洋鋼鈑の製品は使われています。

缶用材料



飲料缶向けから 工業缶向けまで幅広い分野で 使われています。

ぶりき

生活シーンに欠かせないぶりきは、美しい光沢に覆われ耐食性に優れた安心素材です。食缶をはじめ飲料缶、18ℓ缶、美術缶など用途も幅広く、伝統の技術と最新の設備が生み出す高品質な「ぶりき」は、世界中で厚い信頼を集めています。お客様のニーズに対応した広範な仕様・高品質のぶりきをご提供します。



▲ぶりき缶

ティンフリースチール(ハイトップ)

「ハイトップ」はぶりきに代わる発展型の素材、ティンフリースチール(錫なし鋼板)として、東洋鋼鈑が世界で初めて商品化に成功した素材です。耐食性・塗装性に優れているため、王冠など缶用材料としてはもちろん印刷用製版材、塗装用下地処理鋼板など幅広い用途で利用されています。



▲18ℓ缶

ラミネート鋼板(ハイペット)

「ハイペット」は環境にやさしい安心な素材として、東洋鋼鈑が独自に開発したフィルムラミネート鋼板です。代表的な用途は「TULC」で、この素材を製缶することによって塗装工程や洗浄工程を省略でき、CO₂排出の大幅削減や排水ゼロの「環境にやさしい」缶を実現しました。食缶や18ℓ缶にも適用しています。※「TULC」(タルク)はToyo ULtimate Canの略で「究極の缶」の意味です。東洋製罐(株)が開発。



▲TULC

化粧缶
(ぶりき)

建築・家電用
材料



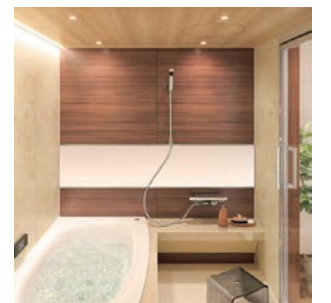
お客様のさまざまなデザイン ニーズに柔軟にお応えし、 住空間や生活を スタイリッシュにします。

樹脂化粧鋼板(ビニトップ)

お客様が製品を選ぶポイントとして、製品の高度化とともにデザイン性の高さも重要になっています。東洋鋼鈑の「ビニトップ」は、そんな時代のニーズに応えた樹脂化粧鋼板です。素材の表面に多彩な印刷表現ができるだけでなく、立体的な浮き彫り加工や高光沢鏡面といった美しい表面仕上げが可能です。冷蔵庫の扉など家電部材からユニットバスなどの屋内外装材まで、お客様のさまざまなデザインニーズに柔軟にお応えできます。



▲冷蔵庫表面
高透明なPETフィルムと印刷層の融合により、高光沢と奥行きのある外観が実現できます。



▲ユニットバス
木目や石目の質感をエンボスと印刷表現でリアルに再現。意匠性の高い素材です。

電気・電子
部品材料



円筒缶電池の 外装缶用途を中心に 幅広い分野で 採用されています。

ニッケルめっき鋼板(ニッケルトップ)

ニッケルは高温で酸化されにくく、アルカリや薬品に対する耐食性にも優れています。東洋鋼鈑の「ニッケルトップ」は、長年培った独自の表面処理技術と圧延技術を融合させ、ニッケルの特性を最大限に生かしています。電池材・文具から自動車部品まで、幅広い用途で採用されています。



▲アルカリ電池

電気亜鉛めっき鋼板(シルバートップ)

東洋鋼鈑が独自開発した環境にやさしい高機能素材です。美しい表面外観、耐キズ付き性、加工性、塗装性、半田濡れ性、導電性などの機能性に富んだ豊富なラインナップでご提供します。



▲電気電子部品



培った技術を医療分野に生かし、 人々の健康をサポートします。

DNAチップ遺伝子解析キット

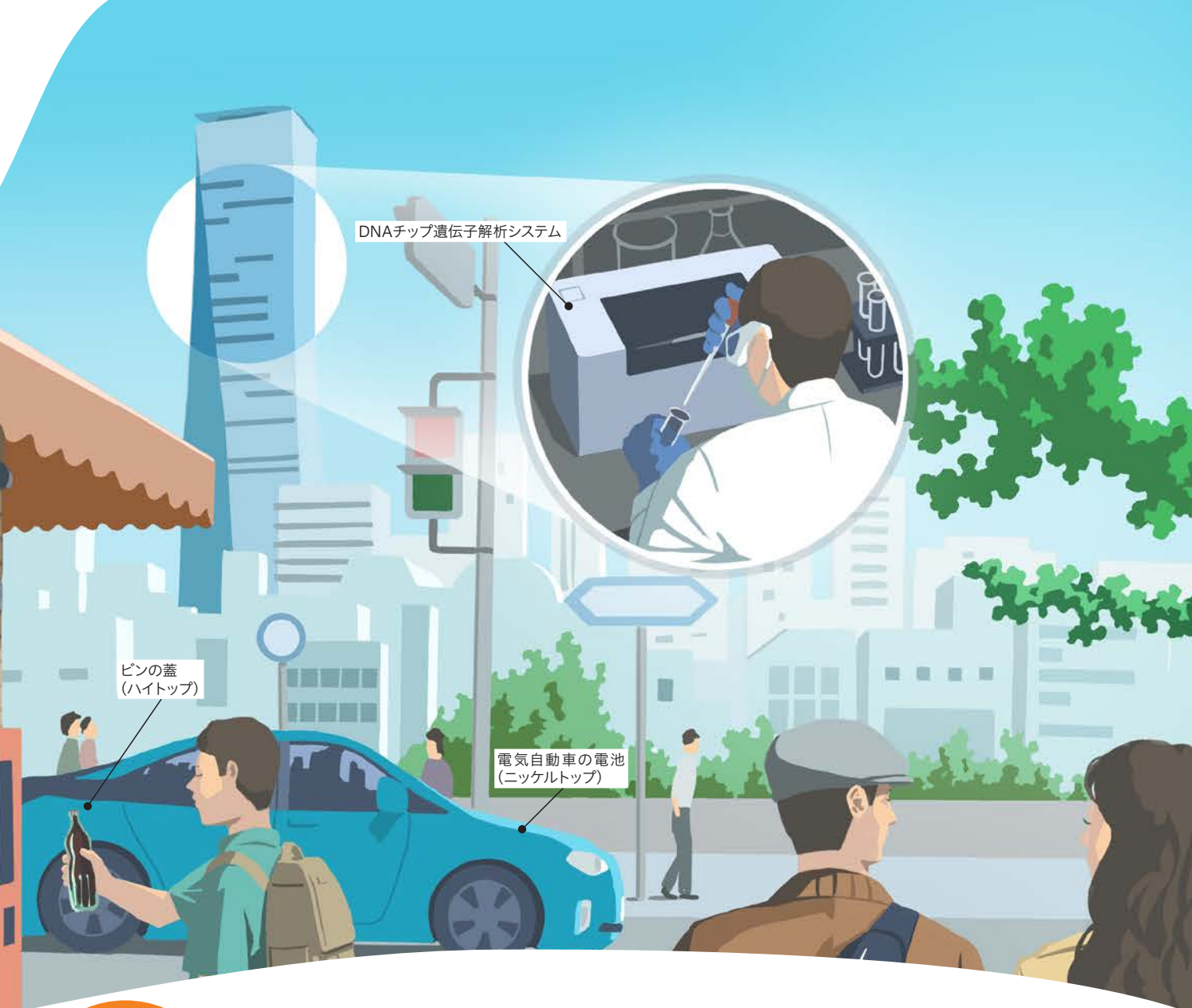
東洋鋼鈑の表面処理技術を活用したDNAチップ「ジーンシリコン®」は、一枚で複数の遺伝子を同時に測定することが可能であり、信頼性の高い解析結果を得ることができます。東洋鋼鈑では、医療分野を中心に製品開発を積極的に推進しています。最新のゲノム研究の成果を検査キットとしていち早く医療現場に展開することで、迅速な診断と、より有効な治療の提供に貢献しています。



▲遺伝子解析キット



▲DNAチップ

スマートフォンの画面
(ファインキャストフィルム)ピンの蓋
(ハイトップ)電気自動車の電池
(ニッケルトップ)

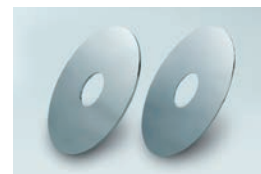
自動車部品や産業用機械部品などの 見えないところでも 東洋鋼鈑の高い技術力が貢献しています。



スマートフォンの画面やデータセンターの サーバーなどさまざまな分野で活躍する 高機能な素材をご提供します。

磁気ディスク用アルミ基板 (MD)

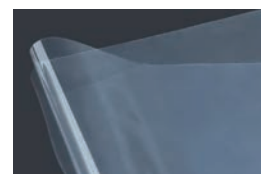
最先端と伝統技術の融合素材、磁気ディスク用アルミ基板 (MD) がストレージの高容量化を支えています。ハードディスクドライブ (HDD) は、かつてはコンピューターやビデオレコーダーなど主にデジタル機器に組み込まれていましたが、現在は拡大するデータ社会を支えるデータセンター向け主戦場を変え、日々生成されるデータを保存する重要な記録装置として活躍しています。



▲磁気ディスク用アルミ基板 (MD)

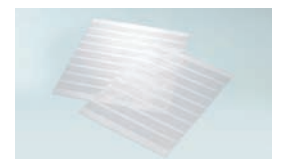
光学用機能フィルム (ファインキャストフィルム)

容器用機能フィルムの製膜技術をもとに、フラットパネルディスプレイ用途に光学用機能フィルムを展開しています。東洋鋼鈑のフィルムはディスプレイの大型化、薄型化に大きく貢献しています。

▲光学用機能フィルム
(ファインキャストフィルム)

ハイブリッドカー用バッテリー部品 (ニッケルめっき芯体材)

ハイブリッドカーのバッテリーを支える東洋鋼鈑の孔あき芯体材は、「ニッケルめっき鋼板」を使って作られています。高温で酸化されにくいというニッケルの優れた特性を最大限に生かしためっき鋼板で、優れた耐食性を実現。今後ますます注目されるハイブリッドカーの一部として、東洋鋼鈑の高い技術力が役立っています。



▲ハイブリッドカー用バッテリー部品

自動車部品 (ニッケルトップ)

耐食性に優れた東洋鋼鈑の「ニッケルトップ」は、燃料パイプやマフラーなどの自動車部品としても活躍しています。ガソリン・熱・排ガスなどに対して腐食しにくく、その長寿化に貢献しています。



▲自動車部品 (マフラー)

ベアリング部材 (シルバートップ、トップ)

優れた板厚精度を誇る「トップ」は、リテーナーの材料として、ボールベアリングの円滑な回転を支えています。また、板の薄さと耐食性の両立が必要なシールド材には、亜鉛めっき鋼板として類を見ない薄さを実現した「シルバートップ」が不可欠です。このように東洋鋼鈑はベアリングの内側からも外側からもその品質に寄与しています。



▲ベアリングシール

私たちは挑戦を恐れません。

研究開発の現場では、思い通りにいかないことの方が多いかもしれません。けれども私たちは、そうした一つひとつの経験を「無駄」とは決して考えません。なぜなら、汗をかき、試行錯誤を重ねる——その積み重ねこそが、次の時代を拓く技術となり、100年企業へと続く道を築いていくと信じているからです。

研究開発

私たちの研究開発は、個人の力だけでは成し得ません。材料、化学、物理、電子、機械、ライフサイエンス、デジタル——多様な専門性を持つ研究者たちが、研究グループに分かれながらも、グループを越えて知恵を出し合い、チームワークで新たな価値を生み出しています。基盤技術を極め、社会に求められる製品を創り出す、一人ひとりの“強み”を生かしながら、お客様とともに豊かな社会づくりに貢献していく——そんな活気あふれる研究開発が、私たちの真の姿です。「素材」の進化が、「社会」を進化させるのです。



■ エネルギー・環境対応型素材

脱炭素社会への貢献を目指し、次世代エネルギー技術を支える素材開発に取り組んでいます。将来のカーボンニュートラルに貢献する次世代電池用素材をはじめ、未利用エネルギーの活用やCO₂排出を削減する技術など、多角的な視点から持続可能な社会の実現に向けた環境対応型素材の研究開発を推進しています。

■ 高速通信・スマート社会を支える電子材料技術

高周波対応や電磁波シールド性能を備えた電子材料用基材は、電子機器の小型化・高密度化に貢献しています。高度化するデジタル社会の基盤技術として、通信インフラの進化を支えています。

■ 医療・ヘルスケア分野への挑戦

私たちは鉄鋼メーカーの枠を超え未知の医療分野に挑み、長年培った基礎技術を生かして、遺伝子診断用基板の高精度化・小型化を実現しました。今後も医療の未来に、技術で貢献し続けます。

人と地球にやさしい企業を目指して。

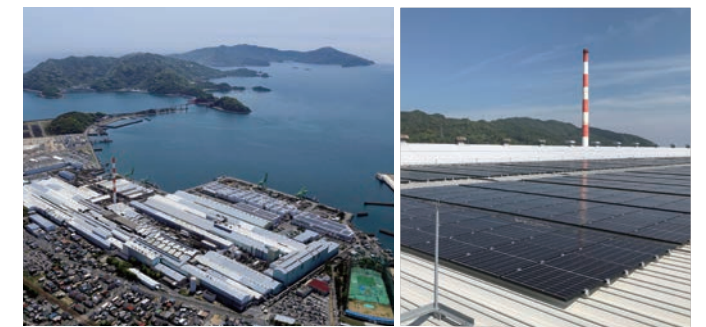
環境負荷の低減を目指す「環境への取り組み」と、社員一人ひとりの健康を大切にする「健康経営」。この両輪が、私たちの社会的責任を果たし、持続可能な成長を実現する原動力となっています。

環境

東洋鋼鋳では、脱炭素社会への取り組みを生産・研究拠点のある山口県を中心に積極的に推進しています。

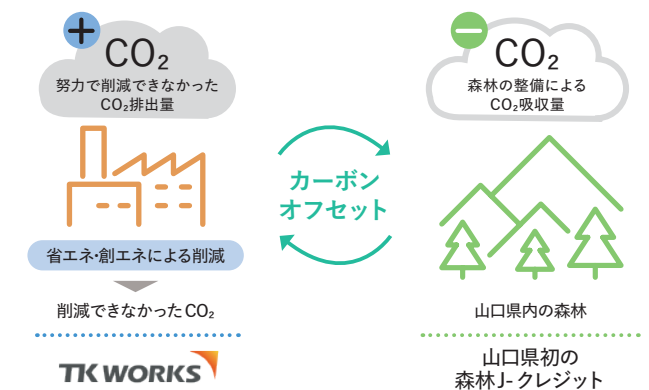
■ 再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電設備の設置)

太陽光発電設備の設置を下松事業所内建屋屋根や下松事業所外で順次進めています。下松事業所外では、中国電力株式会社と中国地方で初となる営農型で進めています。耕作放棄地などの再利用や農業経営の改善による地域活性化にもつながっていきます。



■ 森林活用によるCO₂の吸収

山口県内の森林を適切に管理することで創出されたCO₂吸収量をクレジット化した森林J-クレジットを購入しています。人々の生活や企業の生産活動に欠かせない水を育む森林において、保全整備や適切な管理を推進することにより、山口県内の林業の活性化や森林保全の促進、生物多様性や水源涵養効果の向上に貢献していきます。



健康経営

東洋鋼鋳は、社員一人ひとりが心身ともに健康で、お互いを理解しあえる、明るく快適な職場づくりを目的として、「健康経営」を推進しています。社員の健康管理を経営的視点でとらえ、戦略的に実践し、健康を維持・増進することが社員のパフォーマンス、生産性、エンゲージメント向上につながり、ひいては企業価値が向上することを期待し取り組んでいます。

■ 具体的な取り組み

健康管理・増進事業の企画推進、産業医・保健師・看護師各専門スタッフによる健康指導、メンタルヘルスケアなどをはじめとしたさまざまな取り組みを実施しています。

Company Profile



東洋鋼板株式会社
コーポレートサイトはこちら

会社概要

設立	1934年(昭和9年)4月11日
資本金	50億4,000万円
従業員数	1,515名(2025年3月31日現在)
事業内容	ぶりき、薄板および各種表面処理鋼板並びに各種機能材料等の製造・販売

事業所

- 本社
〒141-8260
東京都品川区東五反田二丁目18番1号(大崎フォレストビルディング)
(03)4531-6850
- 大阪支店
〒541-0041
大阪市中央区北浜四丁目7番19号(住友ビル3号館)
(06)6223-0581
- 名古屋営業所
〒460-0008
名古屋市中区栄二丁目3番6号(NBF名古屋広小路ビル)
(052)203-1771
- 広島営業所
〒732-0827
広島市南区稲荷町4番1号(広島稲荷町NKビル)
(082)261-6301
- 技術研究所
〒744-8611
山口県下松市東豊井1296番地の1
(0833)44-2540
- 下松事業所
〒744-8611
山口県下松市東豊井1302番地の1
(0833)41-3131
- 柏センター
〒277-0804
千葉県柏市新十倉二番1号
(04)7137-0551

グループ会社

国内

- 株式会社富士テクニカ宮津
自動車用プレス金型および各種金型の製造販売
〒411-0915 静岡県駿東郡清水町的場20番地
(055)977-2300
- 鋼板商事株式会社
鋼板類とその加工品の販売等
〒141-0022 東京都品川区東五反田二丁目18番1号
(大崎フォレストビルディング)
(03)4531-6880
- 鋼板工業株式会社
帯鋼、結束機等機械器具、硬質合金等の製造販売および
磁気ディスク用アルミ基板の製造
〒744-0011 山口県下松市西豊井1394番地
(0833)41-2747
- 東洋パックス株式会社
梱包資材の製造販売、包装作業請負
〒744-0002 山口県下松市東豊井905番地の2
(0833)45-2275
- 共同海運株式会社
内航運送業、貨物利用運送業、通関業、代理店業、倉庫業
〒744-0002 山口県下松市東豊井1302番地
(0833)41-2612
- 東洋パートナー株式会社
健保会館等福利厚生業務の請負
〒744-0002 山口県下松市東豊井1302番地1
(0833)44-2519
- 下松運輸株式会社
貨物自動車運送業、港湾運送業、通運業および倉庫業
〒744-0002 山口県下松市東豊井1302番地107
(0833)41-0627

海外

- TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN.BHD.
磁気ディスク用アルミ基板の製造販売
Plot3,Kulim Hi-Tech Industrial Zone(Phase II),
09090 Kulim,Kedah Darul Aman,Malaysia
+60-4-4031642
- 上海東洋鋼板商貿有限公司
(TOYO KOHAN SHANGHAI CO., LTD.)
鋼板関連商品、硬質材料、自動結束機等の販売および
付帯サービスの提供
中華人民共和国上海市仙霞路137号
盛高国際大廈2701室 200051
+86-21-6259-1708
- 江蘇東洋鋼板新材料科技有限公司
(TOYO KOHAN JIANGSU CO., LTD.)
缶用ラミネート鋼板の製造
中華人民共和国江蘇省蘇州市吳江區
桃源鎮經濟開發區桃烏公路1938号 215236
+86-512-6376-8718
- TOSYALI TOYO CELIK ANONIM SIRKETI
(Tosyali Toyo Steel CO. INC.)
冷延鋼板および表面処理鋼板の製造販売

本社
Barbaros Mah. Sutcuolu Cad.
Tosyali Plaza No:72 Atasehir 34746 Istanbul / Turkey
+90-216-470-5191

工場
Organize Sanayi Bolgesi, Buyuk Tuysuz Mahallesi,
Kudamatsu Caddesi No:4
80950 Toprakkale – Osmaniye / Turkey
+90-328-827-1500